中華民國史史料外編

主編：季嘯風、沈友益

廣西師範大學出版社

廈門大學圖書館珍藏
主編：季嘯風、沈友益

中華民國史史料外編

——前日本末次研究所情報資料

日文史料
第三十册

廣西師範大學出版社

要

中日事変（一九三七年九月）

沿岸航通遮斷で支那船員三千名失業

七百隻の大小船舶繋留さる

京津　8EP 9 1937

【上海八日發（同盟）】我が海軍の支那沿岸航通遮斷に對し支那側は一般に之が爲めに起るべき損害は僅少であると表面平靜を裝ふてゐるが事實は全く之れと相反してゐる支那海運界の蒙むる打撃は非常に深刻なもので信頼す可き方面の調査に依れば航通遮斷の結果七百隻の大小船舶が繋船の已む無きに至り其の總噸數は十五萬噸乃至十七萬噸と云はれ少くとも二萬五千の支那船員が失業してゐる支那人經營の最大汽船會社たる招商局は内河及び沿岸航路の外にマニラ航路を有してゐるが八月廿五日航通遮斷が實施されると共にマニラから厦門へ向け航行途上にあつた同社定期船に對し直ちにマニラに引返し同地で無期待機するよう無電で指令した

我が中間回答に英國は不滿足

更に最後的回答要望の傾向

京津　8EP 9 1937

ロンドン楢岡特派員七日發【同盟】英國政府はチエンバレン首相の歸京を迎へ八日定例閣議を開き地中海沿岸國會議並に聯盟理事會に對する

方針に付き 協議ヒューゲツセン大使事件に付いても今後の對策を協議する豫定と見られる、英國政府は日本の中間的回答に對し明らかに失望の色を示してゐるが、日本政府は事件の責任を認めるに至らずと言ふ態度に出で重ねて非難の態度を示めすには至つていない、一説に依れば閣内の一部は日本に對し改めて

最後的回答 を督促すべしと主張してゐる共傳へられるが大勢は少なくとも今週間待つた上日本の最後的回答を見て態度決定すべしとの意見に傾むいてゐる樣である

末次研究所

香港南方支那領のプラタス島に日章旗

我驅逐艦により完全に占領

英側憶測を逞ふす

京津 SEP 9 1937

香港八日發【同盟】確報に依れば香港を去る百八十浬南方の支那領プラタス島は我海軍の手で數日前占領された、同島には氣象觀測所と無電台が有り四日以來同島との聯絡は杜絶してゐる

香港八日發【同盟】プラタス島を追放された燈台守の支那人數名は昨七日香港に歸還したが同島は去る三日我が驅逐艦に依り

完全

に占領せられてゐたことが確認された、彼等の語るところに依れば

去る三日朝一隻の日本驅逐艦が海岸に現はれ機關銃高射砲を有する陸戰隊が上陸して無電台を包圍し支那人の退去を求め内部を臨檢し次いで燈台に至り支那人の檢査を行ひ四日朝建物に日章旗を翻して終つた、五日朝燈台守支那人は驅逐艦に連行され、ガソリンを支給されモーターボートで

香港

に歸るよう命令され三日間の航海を續けて

鼓浪嶼の米國領事館、閉鎖

[illegible]七日朝富雄に[illegible]した[illegible]日本軍[illegible]が同島に[illegible]ゐる

香港八日發【同盟】[illegible]領事は本國政府の[illegible]を受け[illegible]鼓浪嶼の領事館を閉鎖し支那側の管理に一任するに[illegible]近く在留米國人全部を率ひ香港に向ふこととなつた

再度厦門を空爆

京津 SEP 9 1937

香港八日發【同盟】我が海軍航空隊は七日午後厦門空襲を敢行厦門の要塞地一帶を爆撃した後更に市中抗日分子の策動する主要建物を爆撃隨所に火災を起し大恐慌を起した、尚同地爆撃は六日午後四時にも行なはれ引續いての爆撃に市民は續々近郊に逃避中である

末次研究所

帝國軍艦 瓊州海峽を壓す 北京

廣東側海南島北海增兵

【香港八日發同盟】海南島瓊州より廣東軍電局への入電によれば、七日夕刻日本軍艦〇隻が瓊州海峽（雷州半島と海南島の間）に現はれ廣州灣を中心に海空より同方面の支那船舶を監視中であるとのことで、余漢謀は直ちに海南島と北海駐屯部隊に對し二十四時間以內に戰鬪準備を爲すやう命令を發した北海駐屯部隊は廣西軍の增援を得て目下三萬余の兵力に上つてゐるに對し海南島部隊は一個旅に過ぎなかつたものが廣東友軍の增援を得て三倍の兵力となる模樣である。

我海軍布拉多斯島占領

【香港八日發同盟】確報に據れば香港を去る百八十哩南方の支那領布拉多斯島は我が海軍の手で數日前占領された、同島には氣象觀測所と無線台があり四日以來同地との連絡は杜絶してゐる。

藏相演說要旨 天津

【東京五日發同盟】第七十二議會に於ける賀屋大藏大臣の演說要旨左の如し—日支關係のその後の事態の推移に伴ひ時局に關し必要なる施設に要するものは臨時軍事費に於て二十億二千二百餘萬圓一般會計各省所管に於て四千二百餘萬圓である。右のうち

臨時軍事費 はその性質上一般の歲計を區分して特別の整理を爲し時局の終結に至るまでを一會計年度として整理する爲め臨時軍事費特別會計を設定する必要を認めこれに關する法律案を本議會に提出することゝ致しました、右の財源としては臨時軍事費に就いては全部公債金を以て一般會計に就いては本年度豫算實行上に於ける歲出不要額並びに歲出に伴ふ普通歲入の增加等を以て之に充當する計劃である、この際時局の爲め必要なる物資の輸出を制限し

比較的不急 なる物資の輸入を抑制し必要なる物資の輸入力の增大に努め且つ右の輸入抑制の結果生ずる國內物資の不足に對應する方策を講ずることが肝要である、この故政府は資金調整に關する法律案を提出致し會社の新設、增資並びに金融機關等の社債の引受事業設備の新設、擴充資金の貸附等につき適當なる調整を行ひ時局に必要とする事業に對する資金の疏通をはかる爲め日本興業銀行をして必要なる資金の融通を爲さしむるよう興業債券

發行限度の 擴張その他の措置をとることゝした、事變關係に依る急激なる物資の需要增加に伴ひ物價騰貴を招來することも考へるので暴利取締令の適用などに依り適切なる指導をなし昭和十二年度豫算の編成に時局の爲め必要なる經費の外は出來得る限りこれが計上を差控へる方針で地方公共團體の財政に就いても亦同樣の方針に依らしむる心算である、公債の消化に就いては金融界の實狀に即することが肝要で常に

資金の供給 を圓滑にし金融の疏通に支障を生ぜさるよう留意し公債の利廻については現在の水準を維持する方針である、外國爲替相場に就いても對英一志二片の水準を維持致すことは軍需の充足並びに國民生活の安定をはかる爲め必要なる條件であると考へ依然これが堅持に努むる方針である

末次研究所

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

社説

SEP 9 - 1937

廣東省軍當局のあてちがひ

滿日

廣州、汕頭、バイアス灣、寶安等、廣東省沿岸各地軍備に對する我が空軍及び海軍の爆撃は、該地支那軍當局を戰慄させてゐる。元來此の地方では、日本軍は北支だけにしか出て來られないものと思ひ、せいぐくの所で上海あたりに少數出兵出來るだけだと思つてゐた。故に日本と戰爭したつて、荒されるのは北支だけで、自分等には痛痒がないと考へてゐた。そして、各地の軍隊が續々集結して日本軍と戰へば、多勢に無勢で日本軍は困り、その中には財政にもつまり、外國からの干渉が出て來て、廣東あたりには決して戰禍は及ばないものと思つてゐた。

◇

故に頻りに抗日熱を掲げ、之れによりて自ら愛國者であるとの自己滿足を味ひ、中央政府を苦めて、軍費でも多く取つてやらうといふやうな心理狀態であつた。抗日意識が此地方に昂まりその策源地となり、漸次養成されて抜くべからざるものに發育したのも、利己と排日とが結合した斯樣な、複雜にして輕挑なる心理狀態に原因を持つ。斯くの如き錯誤を叩き潰し是正することが最も必要であることは吾人の再三切論した所である。然らざれば一旦北支を固めても直ちに此の方面から攪亂される。最近には屢々日本空軍が廣東沿岸を見舞ふやうになつたので、彼等は案に相違して大に驚いてゐる。我軍は此機を逸せず、此の地方に皇軍の威力を十分に發揮し、日本軍は何時でも此の邊までも出て來て、餘裕綽々たるものがあり、その威力は決して侮るべきものにあらざることを確實に認識させるべきである。

SEP 9 - 1937

日支兩國に對し米國賠償を要求

事變の終了後提示

東朝

【ワシントン特電七日發】米國國務省における消息によれば米國政府は先日支那事變によつて受けたる米國側の損害賠償要求の權利を保留する旨日支兩國政府に通告しておいたが右賠償の要求は事變終了を待つて提示される筈である

東沙島を占據す

香港東南方の要地

東朝

SEP 9 - 1937

【香港特電八日發】香港海軍側の無電によれば日本軍艦は香港の東南方凡そ五十浬の地點にある東沙島を占據し兵員を上陸せしめたと、同所にはイギリス無電台、氣象台あり、軍事上の重要地點にてイギリス當局は極めて成行を重大視してゐる

【香港八日發同盟】東沙島を退去された燈台守の支那人數名は昨七日香港に歸還したが同島は去る三日我が驅逐艦により完全に占領せられて居ることが確認された、彼等の語る所によれば去る三日朝一隻の日本驅逐艦が海岸に現れ機銃、高射砲を有する陸戰隊が上陸して來た、先づ無電台を切斷して支那人の退去を求め内部を點檢し次いで燈台、氣象觀測所に至り支那人の檢査を行ひ四日朝遂に日章旗を掲げて島の占領が宣言された

燈台守の支那人は驅逐艦に連行されガソリンを支給されモーターボートで香港に歸るやう命ぜられ七日目的地に歸着したものである、右の話により英國側は日本軍が同島に飛行場を建設しつゝあるものと見て居る

末次研究所

目	要

二十億の軍事豫算と戰時立法茲に成立す

擧國一致の成果全し

東朝　SEP 9 - 1937

支那事變の擴大により召集された第七十二回臨時議會は戰時體制下に審議を進められたがいよいよ八日をもつて終了することになつた、即ち最終日の議會に先づ貴族院において午前豫算總會を開き臨時軍事費外各省追加案の審議を續け同日午後三時頃迄には議了して本會議に緊急上程可決し成立を見ると共に資金調整法案外九法案の戰時立法も同樣可決され貴族院に送付された法案全部を通過成立する一方衆議院では午前の本會議で貴族院から送付された馬匹法案、工業動員法の二法案を可決し、午後は聖旨奉體決議案を滿場一致で可決、かくて八日中に二十億二千二百萬圓の臨時軍事費その他事變關係追加豫算案及び戰時立法十一法案は全部兩院を通過し擧國一致の成果を納め波瀾もなく五日間の會期を終り九日には閉院式が行はせられる

大　次研究所

愛

愛國女塾の敵を殲滅
軍工路上の敵を爆撃

北京

SEP 9 1937

【上海七日發同盟】第○艦隊報道班午後八時三十分發表

一、陸戰隊北部全線に於て執拗なる逆襲を試みつつありし愛國女塾に據る頑強なる敵に對し我○○部隊は突擊を決行一擧これを殲滅し同女塾を燒却灰燼に歸せしめた

二、海軍航空隊及び江上艦艇は本日我陸戰隊と共に軍工路上にあつて我陸軍飯田部隊と交戰中の敵に對して徹底的爆擊砲擊を加へた。

我三機を以て敵の七機中四機を擊墜
海軍機猛烈に活躍

◇—海軍省副官談

【東京八日發同盟】午前一時半發表海軍省副官談

一、海軍航空部隊は七日早朝上海附近敵陣地全線に猛烈なる爆擊を加へ陸上○○部隊の進擊に協力した○○海軍航空部隊はその○○機及び○○機を以つて杭州及び嘉興を爆擊せり杭州筧橋飛行場に向ひたる部隊は既に數回にわたる我が爆擊により僅かに被害を免かれたる一部高陣建物を爆破した後更に嘉興飛行場を襲ひ多大の損害を與へ又廣德に向ひたる部隊は飛行場は既に爆破され場内に大破せる敵數機を殘すの情況なりしを以て附近兵舍を爆破せり

二、同七日午前九時半我○○機三機は蘇州上空でカーチスホーク戰鬪機七機を認めこれと壯烈なる空中戰鬪を交へ忽ちにしてその四機を太湖中に擊墜し殘機を追擊し太湖西岸に於いてその一機を擊墜した本戰鬪中我が方は搭乗員一名に負傷を受けたる外損害なし

末次研究所

要 日

□上海戰線依然猛烈□

今度は陸軍機 上海上空を制壓

重要地點を爆擊す

北京 SEP 9 1937

【上海七日發同盟】去る六日始めて上海上空に勇姿を現はし縱横に飛翔して皇軍及び在留邦人の士氣を鼓舞した陸軍空の精鋭を加へた我が空軍の偉力は七日朝物凄い程發揮され各方面の敵に多大の損害を與へた

即ち午前十時頃より我が航空隊〇機は引翔巷競馬場附近に十數回にわたり爆彈を投下して陸上部隊の進擊を容易ならしめ又同十一時頃には租界西部上空に現はれた我が〇〇機は京滬鐵道線路附近を爆擊して敵軍後方連絡線に多大の障碍を與へた正午頃には浦東の砲兵陣地を空襲潰滅せしめ午後一時頃には〇機編隊飛行も鮮かに上海西北方に遠ざかり〇〇の敵軍根據地を爆擊した午後三時頃には又々東部戰線上空に〇機が勇姿を現はし引翔巷競馬場附近に蟠居せる敵軍に對し爆擊及び掃射を行つた。

猶ほ右空襲と呼應して我が砲兵の活躍目覺しく閘北の四[illegible]朗及び寶山路附近新公園西北方眞茹路鐵道操車場東北北停車場並に京滬鐵道方面に多數の爆彈を射込み敵に多大の損害を與へた。

第三インターの元兇 ムーラン夫妻出獄す

京津

=終身懲役の宣言を受けてゐたもの=

赤魔の國府弄弄を物語る

SEP 9 1937

【上海八日發同盟】極東赤化の中心人物にて蘇州監獄に服役中の第三インター極東書記長ムーラン夫妻は今回國民政府より出獄を許され近く娘を同伴して歐洲に歸へる事となつた、ムーラン夫妻は上海に潜伏して支那を中心とする極東諸國に赤化の魔手を延して各國の治安を攪亂してゐた元兇で一九三四年上海共同租界警察に逮捕され國籍不明の件に依り支那の裁判に附せられた結果終身懲役の宣告を受けたもので其の魔手の深刻さと廣範圍に亘る點は世界を震撼せしめたものである。服役僅か四年足らずで、斯る人物を釋放するは國民政府の背後にある魔手の命する力が働らいてゐる事を物語る事實とされてゐる…

要　目

馬廠前線の要地 靜官屯を昨日占領

敵は我軍の猛攻に支え得ず 屍體多數を遺棄して潰走

京津

SEP 9 1937

唐官屯八日發　津浦線前線の我部隊は昨日來馬廠川前面の敵に向つて一齊攻撃を開始し掩蔽壕に據り頑强に抵抗する敵の射撃を制壓しつゝ逐次肉迫、最前線の赤柴部隊は砲兵の猛烈なる掩護砲撃により一擧に前進午後五時目前の敵と果敢なる白兵戰を演じ遂に靜官屯を占領した、敵の遺棄屍體累々、同地は馬廠川と南運そのクロス線の一點にある要地で支那軍が數ケ月を要し築造した塹壕各所にあり相當執拗なる抵抗を續けるれが我軍の決死的猛撃に遂に支え切れず放棄潰走したものである

SEP 9 1937

支那部隊の移動頻繁

前線には常に新手を補充

（上海七日發同盟）寶山の戰鬪に於いて捕獲した捕虜を訊問の結果、同所に據つてゐた敵の部隊は第九十八師で總數千數百名と判明したこれにより支那軍部隊の移動がいかに頻繁に行はれてゐるかゞ明かとなつたがこれは日本軍の猛擊に遭ひ意氣阻喪した部隊を後方に移動せしめ新鋭部隊を以つて補充し戰鬪力を恢復せしめんとする戰略と見られる同捕虜の言によると支那軍では五、六ケ月前より俸給が不拂となつたので已むなく隨時隨所に於いて民家を掠奪し飢餓を凌いでゐたもの丶如くである

新支

末次研究所

要

受難の唐官屯の村民
我が安民佈告に感激

北京

8EP 9 1937

【唐官屯七日發同盟】支那軍の掠奪に遭ひ戰々兢々としてゐる千五百餘名の唐官屯の住民は我軍の暖かい手に抱かれ天主教會に收容され安易の日を送つてゐるが七日午後千五百餘名は同教會庭園に集合○○司令官の安民佈告を聞かされ諸手を擧げて感激の涙に暮れ皇軍將兵により一日も早く治安の恢復を祈る等の微笑ましい情景を呈した。

青官屯を奪取
馬廠は風前の灯!

北京

8EP 9 1937

【唐官屯八日發同盟】七日午后六時重田部隊の野砲○○門は一勢に火蓋を切り青官屯南方寺院前の頑強な敵陣地を砲撃中で此れに相呼應した赤柴部隊は敵の怯む隙に乘じて前進又前進青官屯を奪取し敵が頼みとする堤防に迫りつゝあり。

馬廠集中砲火の洗禮
陷落目睫に迫る!

【唐官屯七日發同盟】七日午后快適の秋空を背景として繁田部隊は○○機と相呼應して馬廠驛馬廠河間の敵陣地に集中砲火を浴びせ致命的打撃を與へたが一方最前線にあつて戰鬪を續けてゐる赤柴沖田兩部隊は泥濘を犯して進撃敵前百米の近距離に逼り猛撃中である。

【唐官屯七日發同盟】燒窯盆青官屯の敵陣地は數ケ月の月日を要して構築したゞけに掩蓋銃眼を設けた塹壕は意外にも頑强を極め馬廠河を後にして完全に背水の陣を布いた支那軍が最後の要點死守に躍氣となり彼等か誇る裝甲列車の裝備と相俟つて最後迄我が進撃を阻止せんとしてゐるが我が將兵の決死的進撃は砲兵の掩護射撃と共に馬廠の要塞攻略を早め馬廠占據は目睫の間にありと見られてゐる。

末次研究所

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

SEP 9 1937

早くも保定から逃仕度　北京

【津浦線唐官屯七日發同盟】支那將校の遺棄せる地圖によれば支那軍は早くら逃げ仕度をなし保定方面に退却を策してゐる模様である我軍の猛撃に堪へ兼ねた戰意喪失振りが地圖上の戰闘となつて現れてゐるのが看取される。

抗日逆宣傳の爲め對外使節を歐米に派遣　新支

既に曾宗眞を歐洲に立たす

兩三日中に胡適も米國に出發

（東京八日發同盟）國民政府では前北平大學教授胡適を遣米特別使節として派遣することとなつたが、更に元吳佩孚軍參謀長曾宗眞を歐洲に派遣して抗日逆宣傳に努力せしめることとなり同氏は兩三日中に出發する豫定である

（上海八日發同盟）確實なる筋への報道によれば國民政府に八月三十一日燕京大學教授高士廉を特別産業使節として米國に派遣したが更に今回前北平大學教授太平洋問題調査會長である胡適を遣米特別使節として派遣することゝなり同氏は十六日チャイナクリツパー機にて香港出發二十二日着米の筈である

SEP 9 1937

事態緊迫すれば引揚げを斷行　京津

在支領事館一部閉鎖に就き

米國政府の態度

ワシントン七日發【同盟】アメリカ政府は支那に於ける危機の擴大に伴ひ中南支に於ける領事館の引揚げを決定したが右に付きハル國務長官は七日新聞記者團との定例會見に於いて次の如く述べた

支那駐劄ネルソン・ジョンソン大使は廈門福州のアメリカ領事に對し各地區のアメリカ居留民引揚げ付き諸般の準備完了次第領事館を閉鎖し速やかに安全地帶に引揚げる樣指令した、但し居留民引揚げに先立ち事態が著るしく緩和する樣であれば領事館は閉鎖せぬ事になつてゐる

SEP 9 1937

末次研究所

SEP 9 1937

在支米國人は—

最後迄踏止る

上海商議で決議し ハル長官に打電—

上海七日發[同盟]ハル大統領の談話として米國政府が支那在留米人に引揚げを勸告したとの報道は當地在留米人間に大衝動を與へてゐるが在留米國居留民は例へこれが事實であつて今後

米國政府の保護が無くならうとも

飽くまで支那に於ける商權擁護の爲めに最後まで踏みとゞまるとの堅き決意を示してゐる、右に關し上海米人商工會議所は七日緊急理事會を開催、次の如き決議文を作成しハル國務長官宛打電した

支那に於ける米國商業利權の撤退若しくは抛棄を意味する如何なる政府の聲明に對しても

強硬に反對

するものである、もし斯ることがあれば米國の國威は著しく失墜せしめられるであらう

—

窮境に陷つた國民政府 新支

對日經濟ボイコットを提唱

盛んに全世界に呼び掛く

米國では一笑に附してゐる

SEP 9 1937

(ワシントン七日發同盟)窮境に陷つた國民政府は全國經濟委員會常務委員宋子文の名で對日經濟ボイコットを提唱全世界に呼び掛けてゐるが、米國では官邊も財界も共に實行不可能として一笑に附してゐる、即ち米國各方面の見解を綜合すれば、次の通り

一、米國官邊は經濟斷交は聯盟の對イ經濟制裁で試驗濟みであり、加ふるに今日日獨兩國の提携嚴として存する以上全世界提携によるボイコットはしないとしてゐる

一、一方財界では日本は支那に比べて輸出額五倍に達する米國の顧客でありとくに日本は最大の米綿輸入者である点に鑑み對日經濟ボイコットには最も難色を示すべく又日本絹のボイコットにも反對するものと見られる

SEP 9 1937

沿岸封鎖に依る

打撃は甚大 新支

七百隻十數万噸の繋船

二万五千人の失業

(上海八日發同盟)我海軍の交通遮斷に對し支那側は一般にこれが爲に起る不便と損害は僅少であると表面平靜を裝つてゐるが事實は全くこれと相反してゐる支那海運界の蒙る打撃は非常に深刻なもので支那側確實なる方面の調査に依ると交通遮斷の結果七百隻の大小船舶が繋船の已む無きに至り其總噸數は十五万噸乃至十万噸と云はれ少くとも二万五千の支那船員が失業してゐる支那人經營の最大汽船會社たる招商局は內河及び沿岸航路の外にマニラ航路を有してゐるが八月二十五日交通遮斷が實施されると共にマニラから厦門に向け航行途上に在つた同社定期船に對し直ちにマニラに引返し同地で無期待機するやう無電で指令した

末次研究所

要目

SEP-9 1937

南支沿岸要地爆撃

赤灣砲臺、バイアス灣要塞粉碎

相次ぐ空襲に戰く支那軍

【香港七日發同盟】寶安縣の海上砲臺と共に我海軍航空隊は赤灣砲臺、寶安縣城の爆撃を敢行、多大の損害を與へ、更にバイアス灣上空に飛來して同所附近の軍事的要害を爆撃した、廣東軍飛行隊は我が驅逐艦に飛來したが、我方の反撃に遭ひ遁走した、赤灣東砲臺は火焰に包まれ黑煙天に沖し夕刻に至り全く灰燼に歸した模樣である、又寶安縣城も我艦砲の砲撃で各所に火災を起してゐる、

尚廣東當局は要塞にこれに驚き、戒嚴令を布き一切の船舶の航行を禁止した

【香港七日發同盟】我海軍航空隊の六日の猛烈爆撃後更に我海軍は午前九時同地要塞を砲撃し午後はバイアス灣の爆撃に呼應し海上からも攻撃し今や我海軍の廣東省沿岸に對する攻撃は海空兩方より行はれ、支那軍當局を震駭させてゐる

末次研究所

要 目

敵の第卅團を包圍殲滅す

【上海七日發國通】軍報道部七日午前十一時發表＝○○部隊の一部は羅店鎮西北方楊家廊周宅において敵の第五十一師第三十團に屬する凡そ一千を包圍殲滅せり、この戰鬪で敵の團長以下殆んど戰死、砲數門を鹵獲せり

眞茄、大場鎮を再空爆
軍工路方面の敵に痛撃

【上海七日發國通】我海軍航空部隊は七日午前六時頃より再び眞茄、大場鎮方面の敵に爆撃を敢行又一部は早朝より江灣、市政府方面に爆撃を加へ、陸上の我軍部隊の砲爆撃と相俟ち軍工路方面の敵に痛撃を與へた

末次研究所

拉致された佛人僧侶 二名昨日天津に歸還

敗殘兵學生等の暴狀を報告

【天津】 8EP 9 1937

兇暴なる支那敗殘兵學生團のため拉致された北平西壽山マリストブラザース修道院の僧侶修道者の救援に就てはその後佛國側に於いて日本軍と協同その

救出に努めて

ゐたが昨七日漸く釋放され危地を脱した二名の佛國人修道者が天津に歸還した、右は當地佛租界聖ルイス・カレツヂの職員フイーリー師とブラザーブルーデント師の兩名で數日間の拉致人質生活にすつかり疲勞し切つて居たが歸津後直ちに聖ルイスカレツヂの校長ブローフアウスト師に面會支那側敗殘兵學生の暴狀

修道院襲撃

當時の有樣に就いて悲憤に暮れつゝ詳細報告をなした

大使の負傷事件 英國は日本の最後的

回答を待ち態度決定

【北京】 8EP 9 1937

【ロンドン福岡特派員七日發同盟】英國政府はチエンバレン首相の歸京を迎へ八日定例閣議を開き地中海岸に對する方針に就き協議ヒユーゲツセン大使事件に就いても今後の對策を協議するものと見られる。英國政府は日本の中間的回答に對し明かに失望の色を示してゐるが日本政府は事件の責任を認めるに至らずと云ふ程度で重ねて非難の態度を示すには至つてゐない一說によれば閣內の一部は日本に對し改めて最後的回答を督促すべしと主張してゐるとも傳へられてゐるが大勢は少くも今一週間待つた上日本の最後的回答を見て態度を決定すべしとの意見に傾いてゐるやうである。

戰況刻々進展

【上海七日發同盟】酒塘クリークの線を確保した○○部隊、石井部隊の一部は六日午後更に總攻撃に轉じて前進、壯烈なクリーク戰を敢行し、同夜同部隊の一部は黄家宅、陳家宅を占領、また石井部隊の一部はクリークの西方王家宅陣地を攻撃、東家宅を確保し、倉永部隊左翼一部は吳家クリークと酒塘クリークの交叉點依家宅より陸家宅に進出、之を占領した、かくて酒塘クリーク線の戰況は刻一刻進展し敵は續行鎭方面に敗走を續けつつ

我○部隊 突擊態勢

[illegible]

く又[illegible]ため[illegible]一役を明かした、[illegible]○○敵陣[illegible]トーチカ陣地に[illegible]砲撃を加へた、○○[illegible]の爆撃了後[illegible]○○兵[illegible]命令一下一斉に火蓋を切る、敵陣地は黑煙に包まれ次々に破壊された、間もなく我總攻撃開始の[illegible]に火災起り、立ち昇る黑煙は見渡す限り[illegible]たが今まで[illegible]なかつた[illegible]、第一線○兵部隊は突擊前進の命令を待ちつゝある（午前七時）

東亞研究所

我が陸軍機飛ぶ
上海の防空陣完璧

【上海六日發國通】六日午後より陸軍飛行機○機は上海の上空に勇姿を現はし縦横無盡に飛翔して[illegible]邦人に快哉を叫ばしめた、海軍機の威力が支那軍を震ひ上らしめてゐる矢先、更に陸軍機の威力が加つて我が航空陣は完璧となつた

寶山、呉淞の連絡成り
敵を三官堂方面に急追

【上海特電六日發】五日寶山を陥れ、羅店鎭方面の川岸部隊と呉淞方面の敵前上陸部隊との連絡を完成し、羅店鎭、月浦鎭、寶山城、呉淞の線を繋ぐ我が前線は、六日拂曉より追撃戦を開始し敵を寶山南方三官堂の三[illegible]方面に追撃しつゝある

汕頭要塞を爆撃

【香港六日發國通】六日正午我海軍機○機は汕頭上空に現れ、同市要塞地帶に大爆撃を敢行し、多大の損害を與へて引揚げた、市中はこれがため大混亂を呈してゐる

末次研究所